

# 鳥取県日南町における計画的な 森林施業に向けたフォレスター活動

日野振興センター  
農林業振興課 普及担当 前野洋一

# 本日の発表内容

## ①現状把握

- ・森林GISを用いた施業の見える化

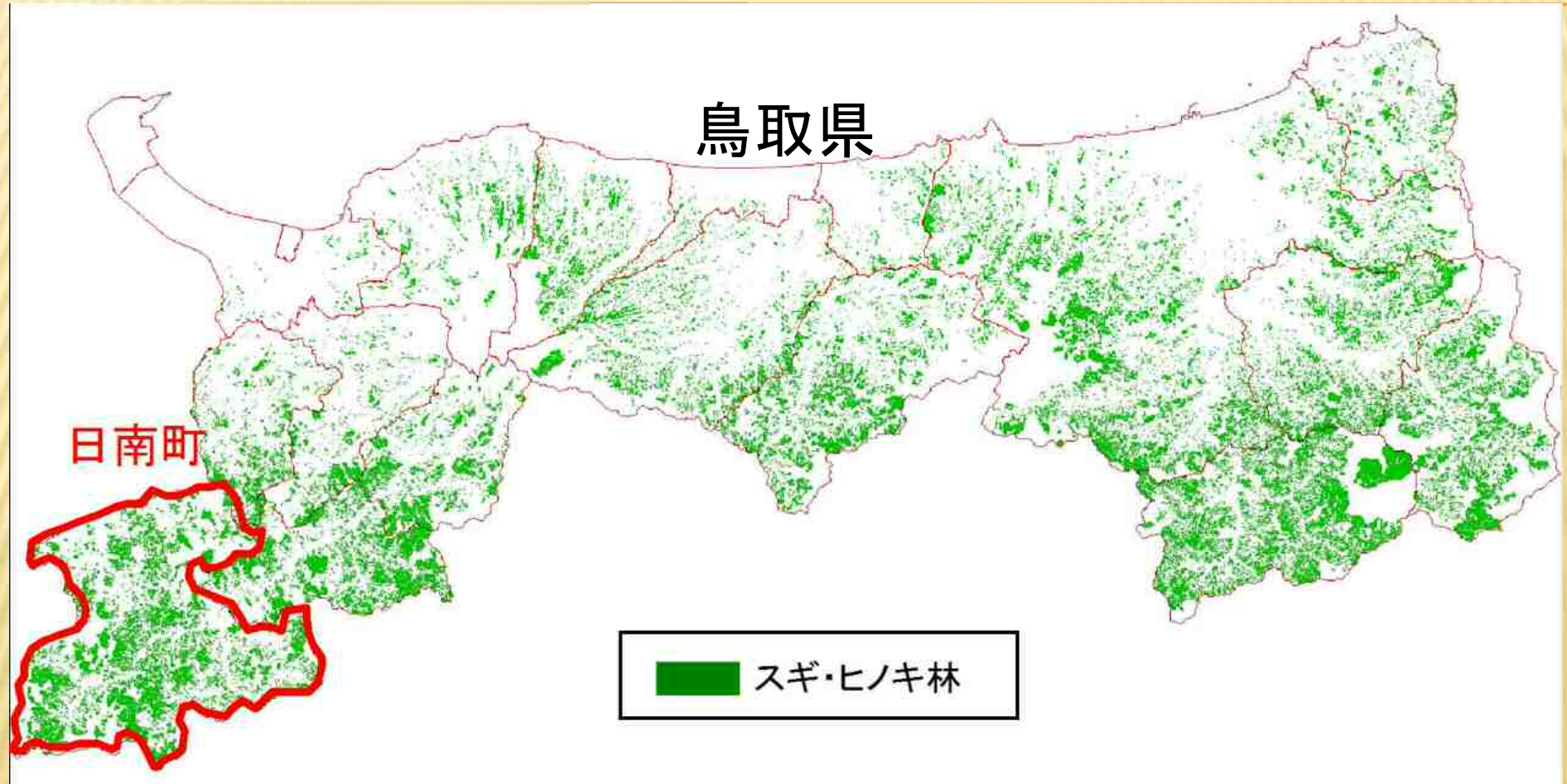
## ②体制づくり

- ・森林組合、町との共通認識の構築
- ・計画的な森林施業に向けた体制の整備

## ③現在の取組

- ・幹線路網対策PTによる検討

# 鳥取県の概要



日南町の人工林率は  
65%

鳥取県の人工林率は  
57%

# 日南町の林業

全域で森林経営計画策定

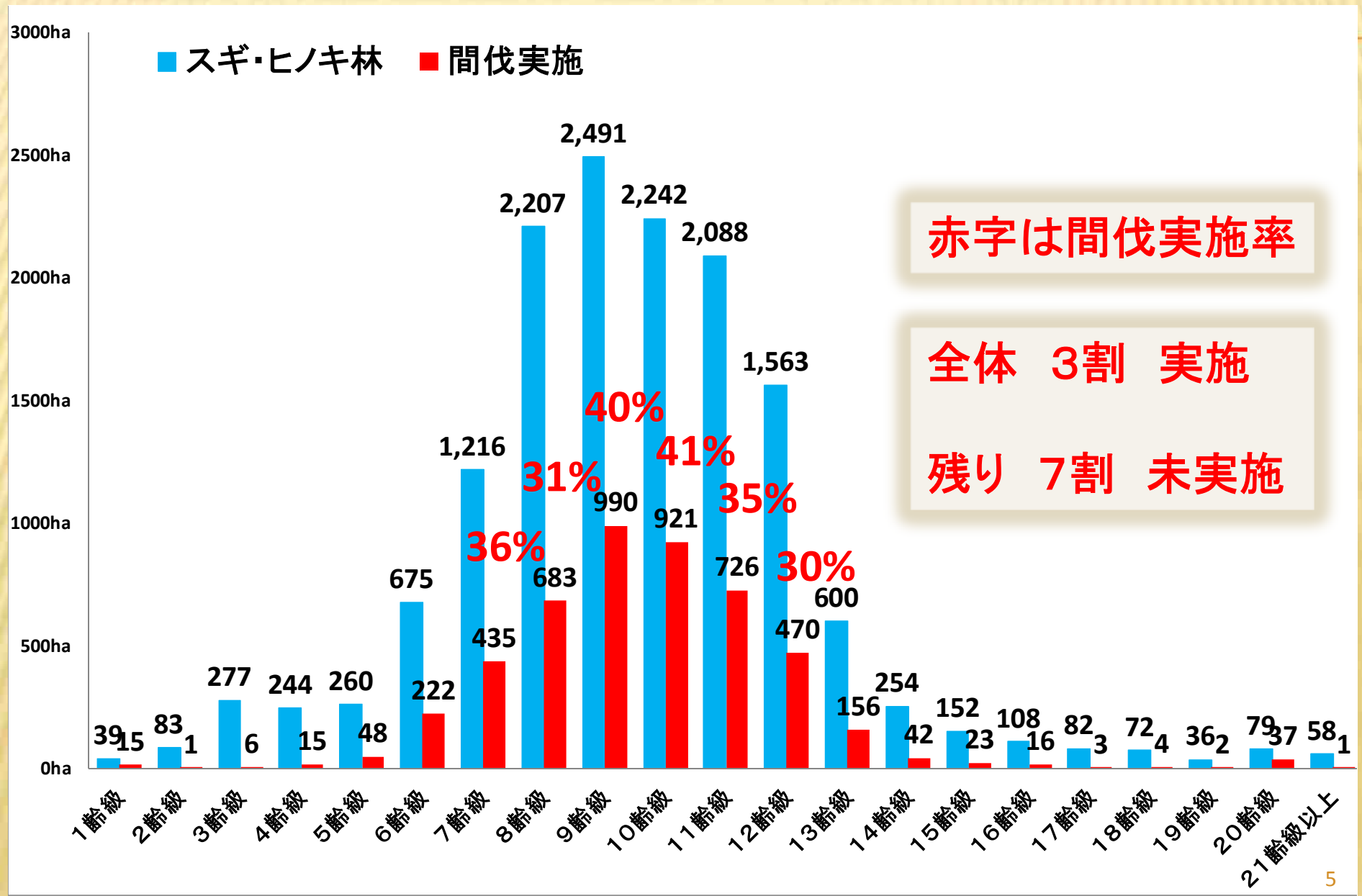
素材生産量(H25)



高性能林業機械の導入

県内の素材生産40%

# 日南町の間伐実施状況（H19～26）



# 日南町の林業の問題

間伐対象森林は7割もあるのに…

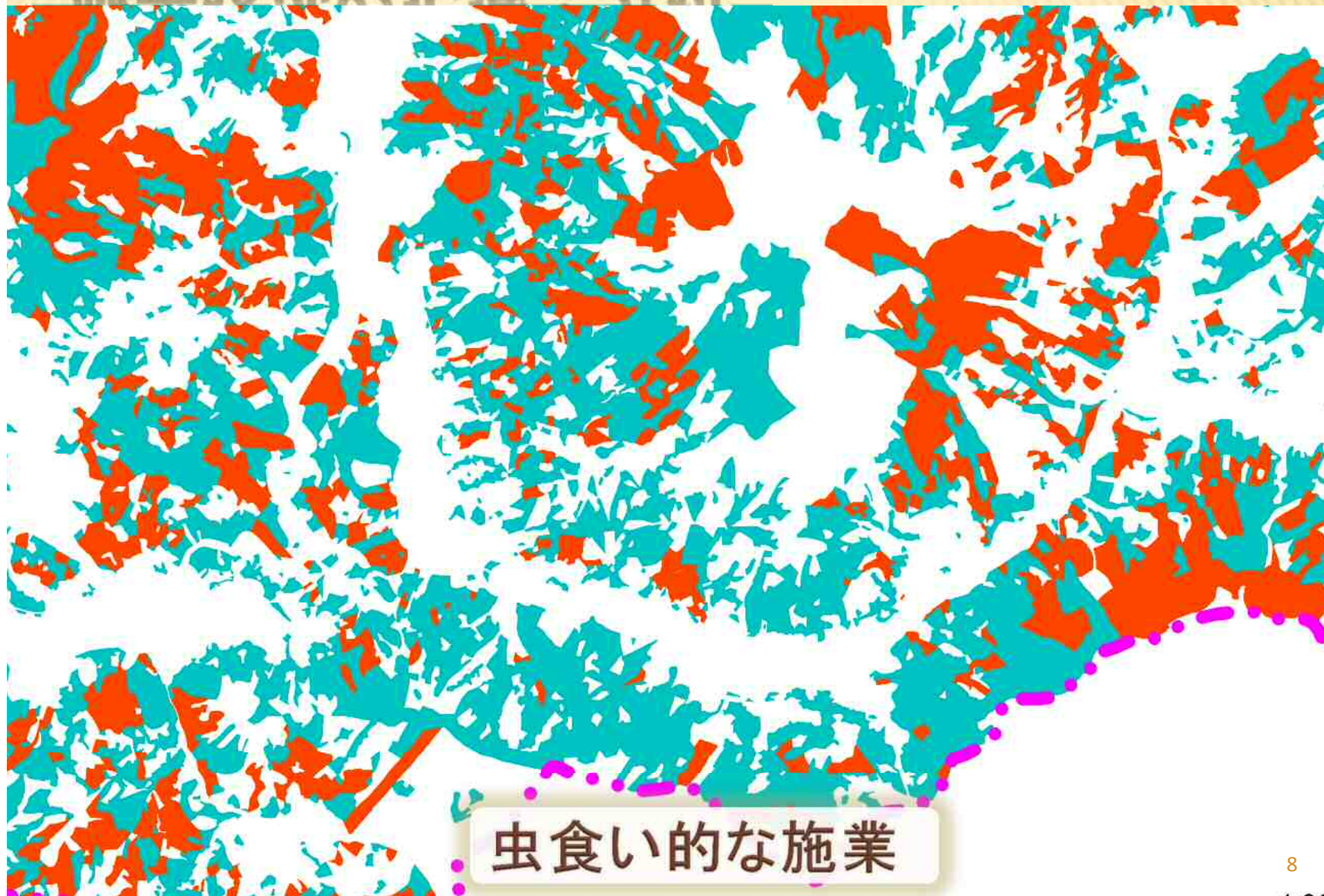
間伐する山がない  
いんです…  
(素材生産業者の声)

実態はどうなのか？





# 施業状況の把握・分析





# 路網整備状況の見える化

## 路網の図化

○航空写真で路線を図化

幹線、作業道の判別

道路台帳

設計図面

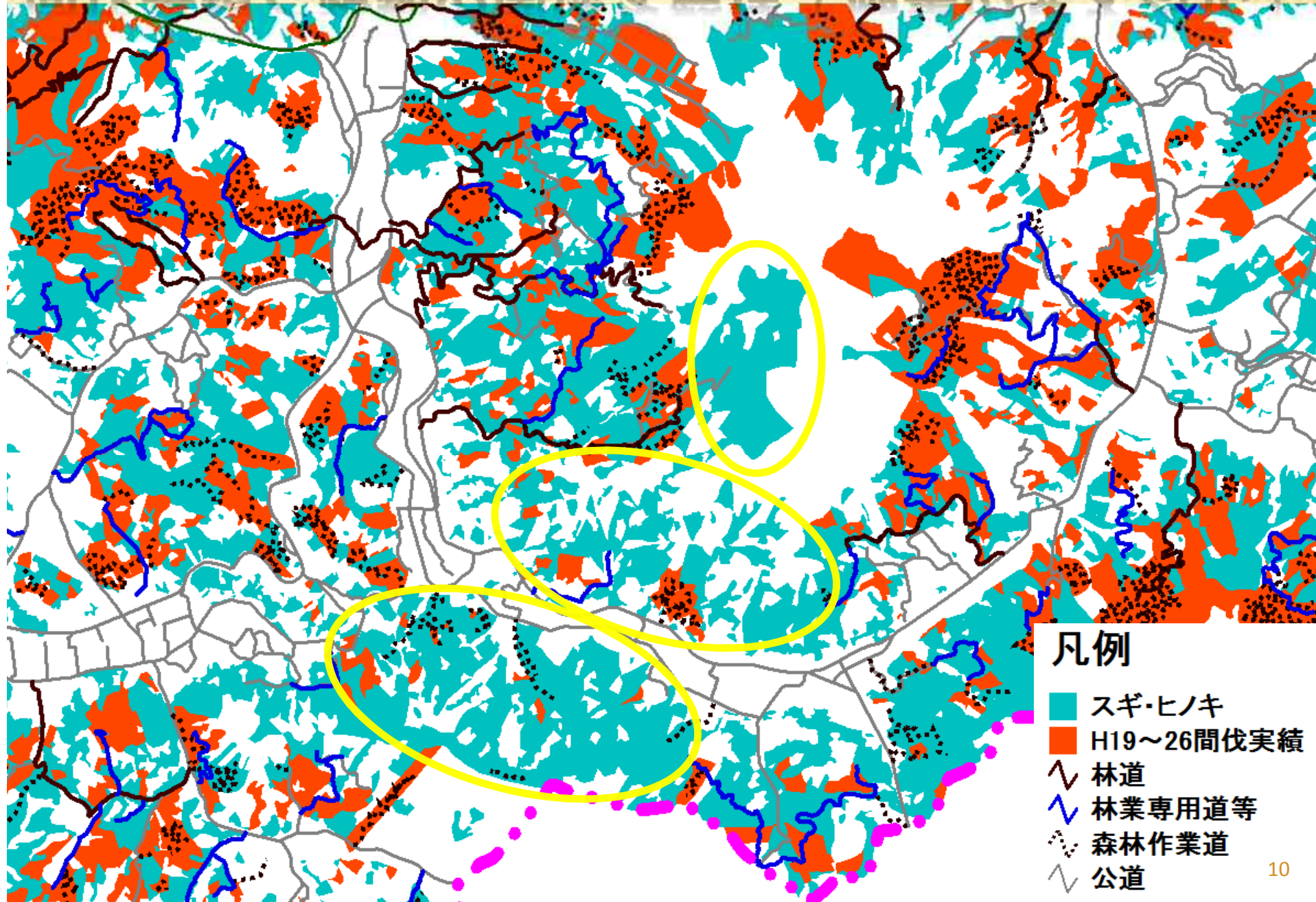
現地踏査(GPS)

### 路網

- ↘ 林道
- ↘ 林業専用道等
- ⋯ 森林作業道



# 間伐実績と路網の関係を整理（施業の見える化）



# 山腹傾斜と路網分布の関係を分析

## 路網

- ↘ 公道
- ↘ 林道
- ↘ 林業専用道等
- ⋯ 森林作業道
- ↘ 広域農道

偏った路網分布

やはり。  
急傾斜地には  
路網がない！

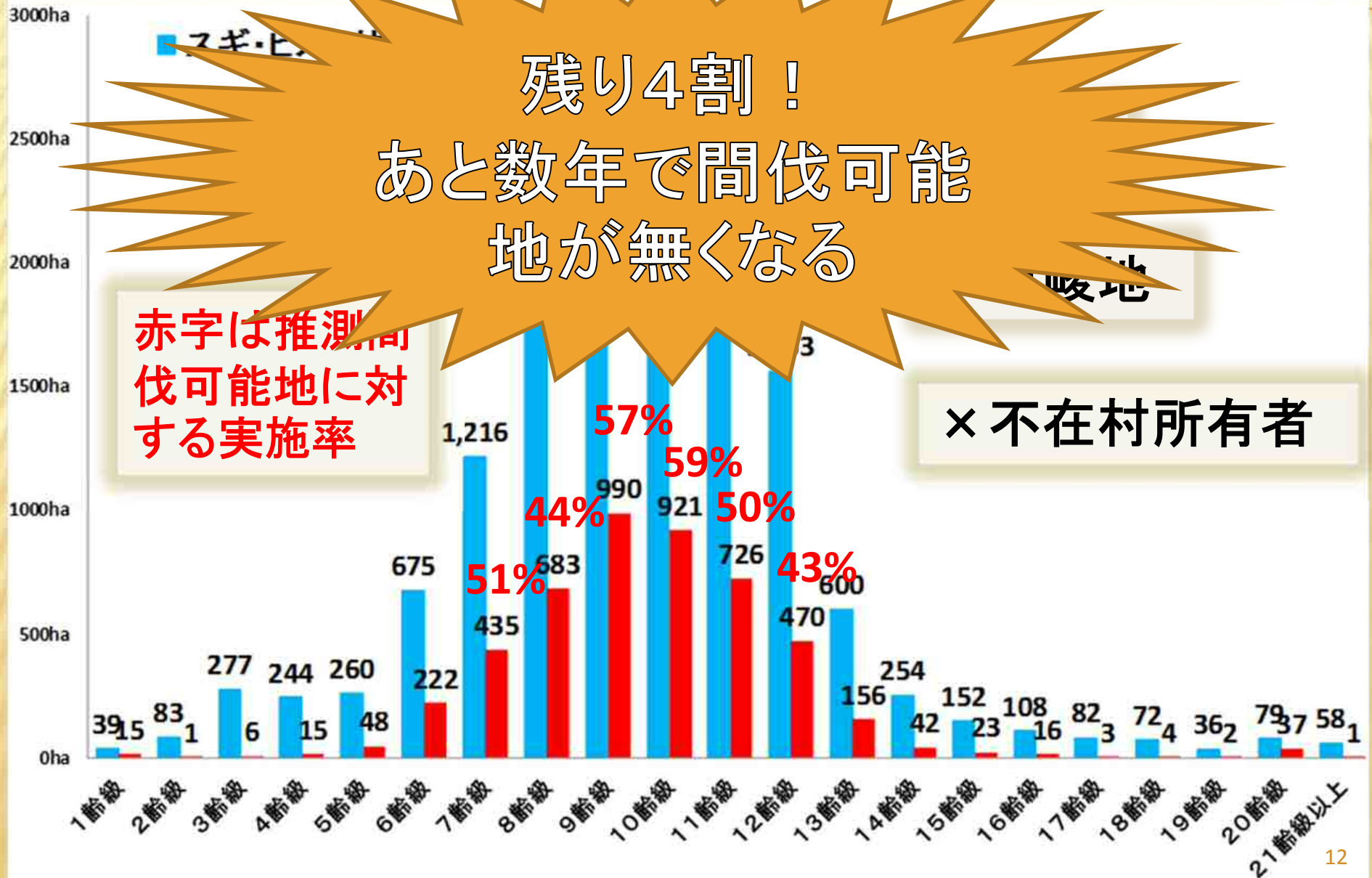
- (1:1.7)ヘアピン道地
- (1:1.5)土砂移動のみで開設可
- (1:1.3)盛土に丸太組が必要
- (1:1.0)崩壊の危険大
- (1:1.0未満)作業道開設不可

# 間伐可能を予測してみると・・・

残り4割！  
あと数年で間伐可能  
地が無くなる

赤字は推測間伐可能地に対する実施率

×不在村所有者



# 日南町森林組合との意見交換（H26.3）

○県の認識

**間伐対象地は不足しつつある。**

・施業地確保のため幹線整備が必要

○森林組合の認識

**間伐対象地は十分にある。**

・既設路網で実施可能

見える化図面

○県と森林組合の共通認識

**計画的な森林施業と幹線開設が必要！**

# 意見交換の結果 森林組合と共通認識はできたが

## ①計画的な森林整備

○体制が整ってないためすぐには出来ない

## ②幹線の整備

○森林組合では幹線の企画ができない



准フォレスターが林業専用道を企画し、  
森林組合に路線提案

# 幹線路網検討会（月1回）

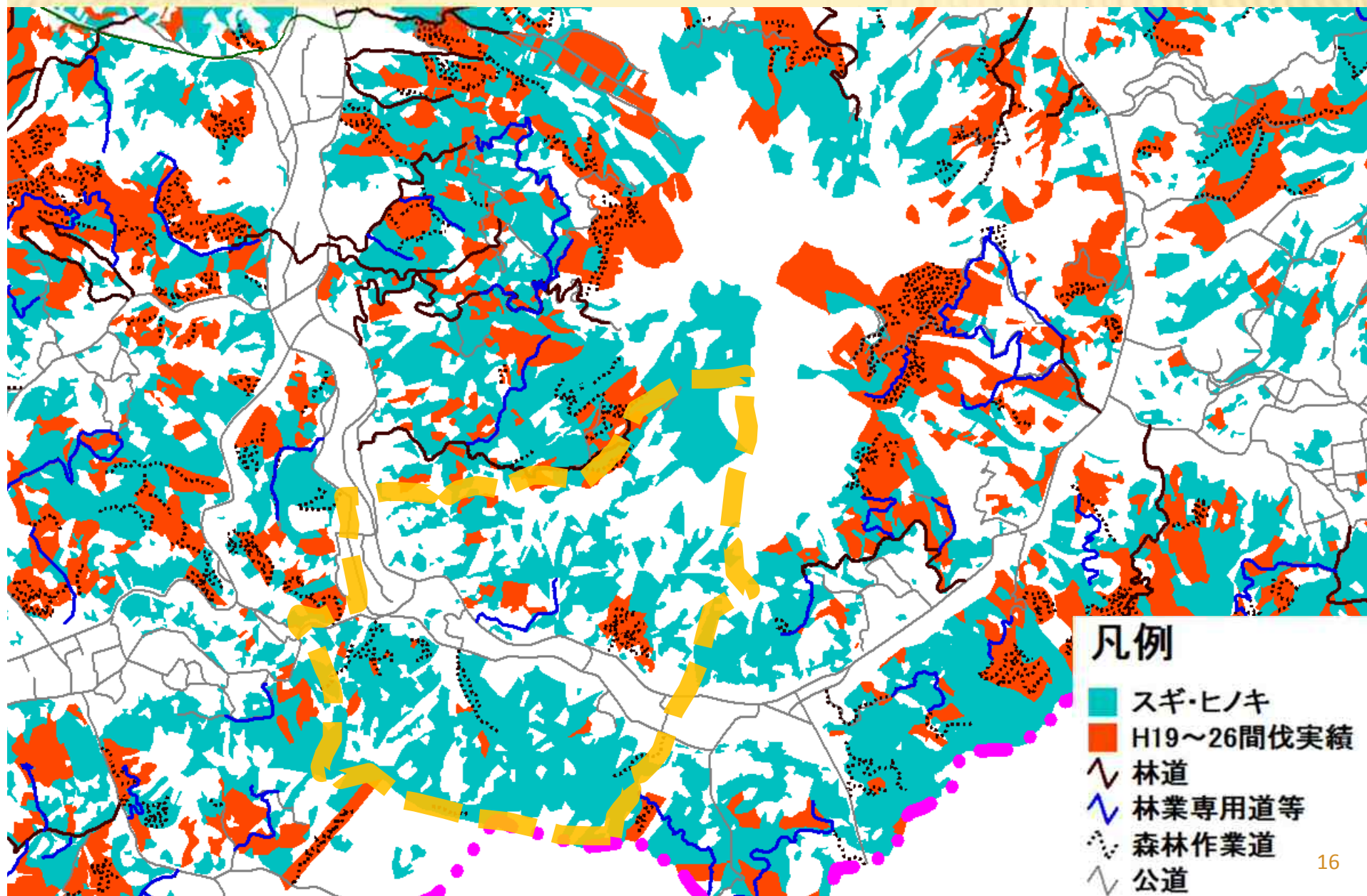


林業専用道提案

実施に向けて県・組合で  
検討、現地踏査

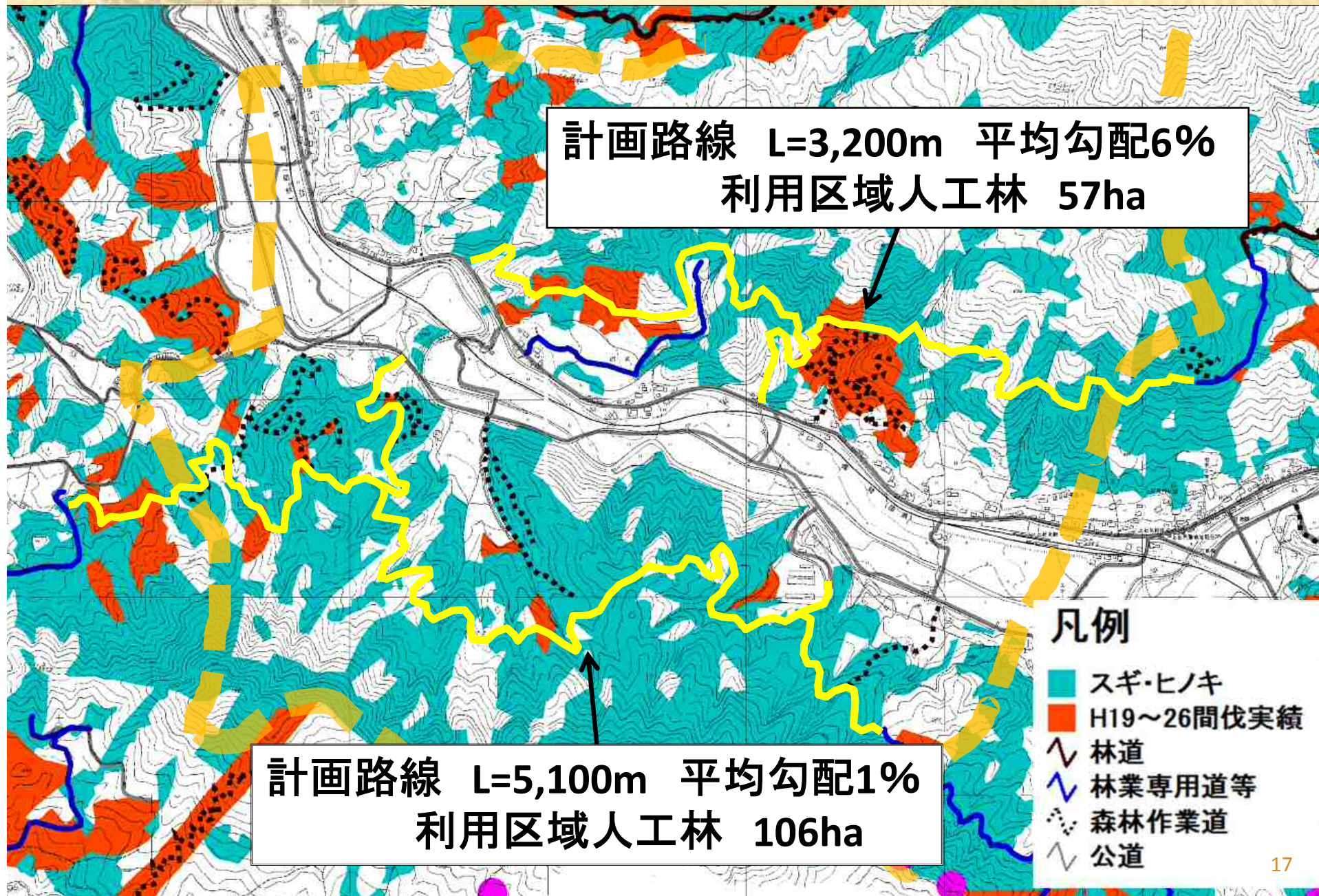


# 路線提案①





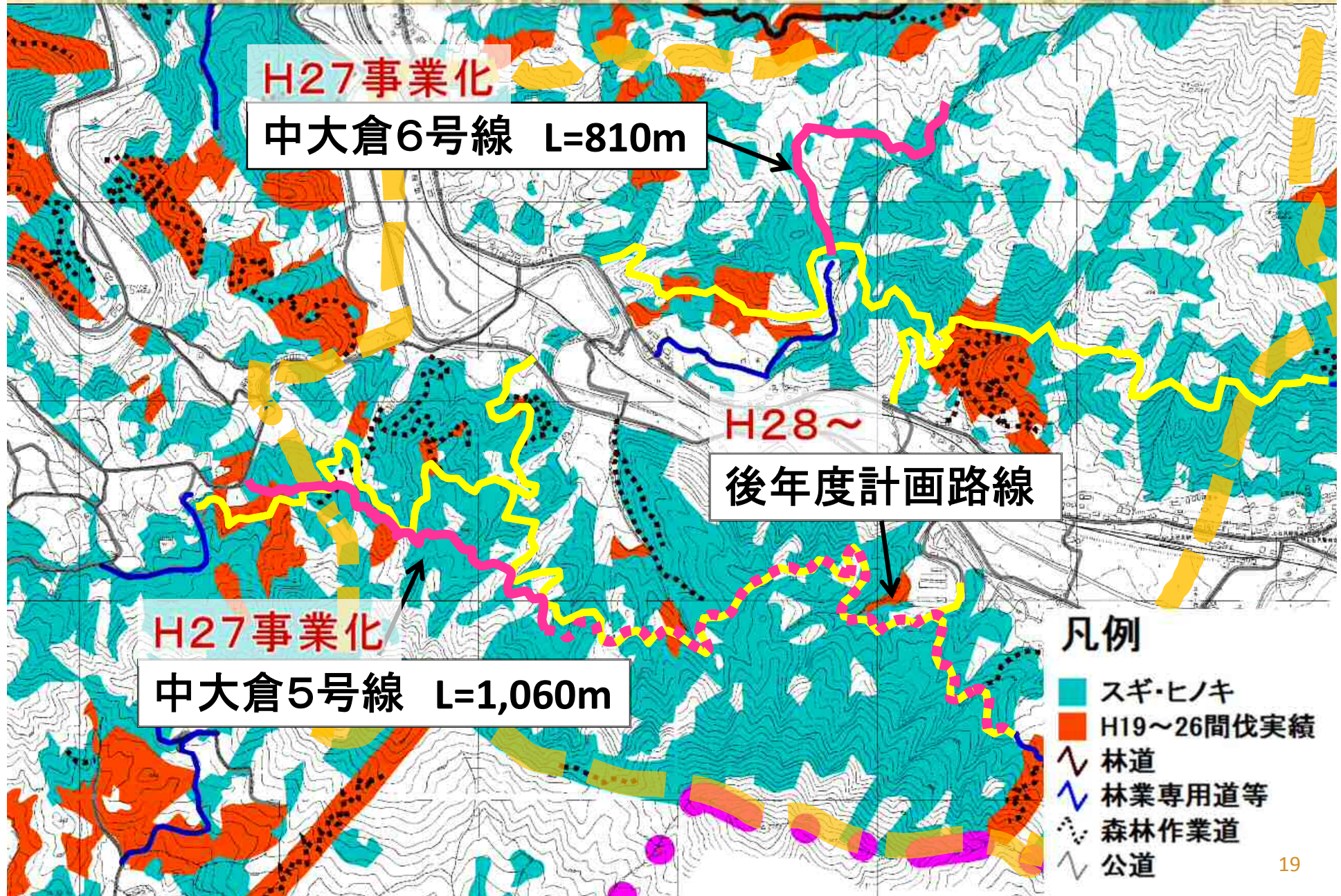
# 路線計画



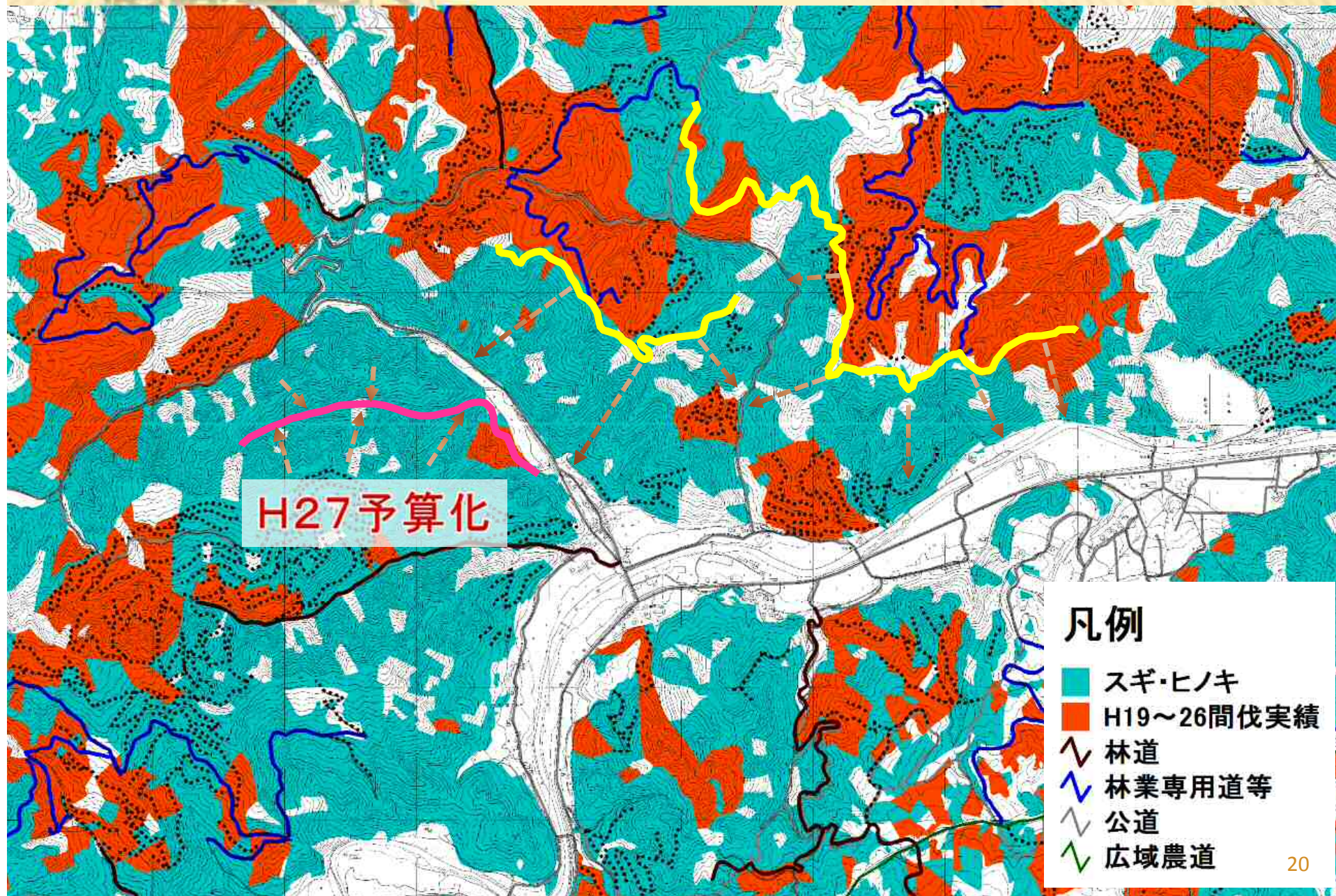
# 地元説明会・現地踏査・ルート修正・事業化



# 地元説明会・現地踏査・ルート修正・事業化



# 路線提案②



# 幹線整備を進める上での問題点

① 准フォレスターによる林業専用道企画

・ 傾斜区分図や施業履歴

② 検討会（施業計画と実効性等検討）

③ 地元説明会・現地踏査・ルート修正

④ 事業化（用地交渉）

○ 問題点 山林所有者対策

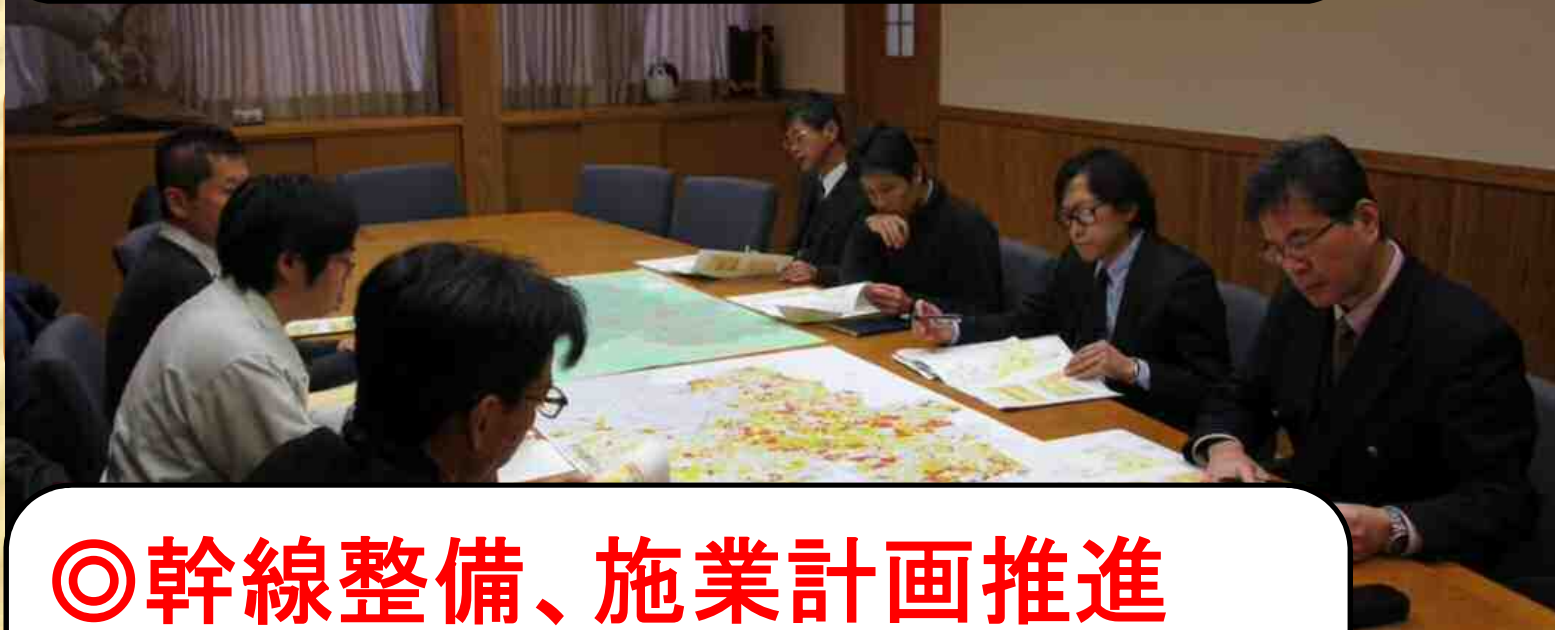
・ 森林組合だけでは手に負えない

・ 町の協力が欲しい

# 日南町との意見交換会（H26.12.25）

## ○現状認識

- ・間伐だけでは行き詰まってしまう。



## ◎幹線整備、施業計画推進

- ・日南町が地元交渉などで森林組合をバックアップ。

# 町・森林組合・県との対策会議(H27.2.5)

## ○検討課題

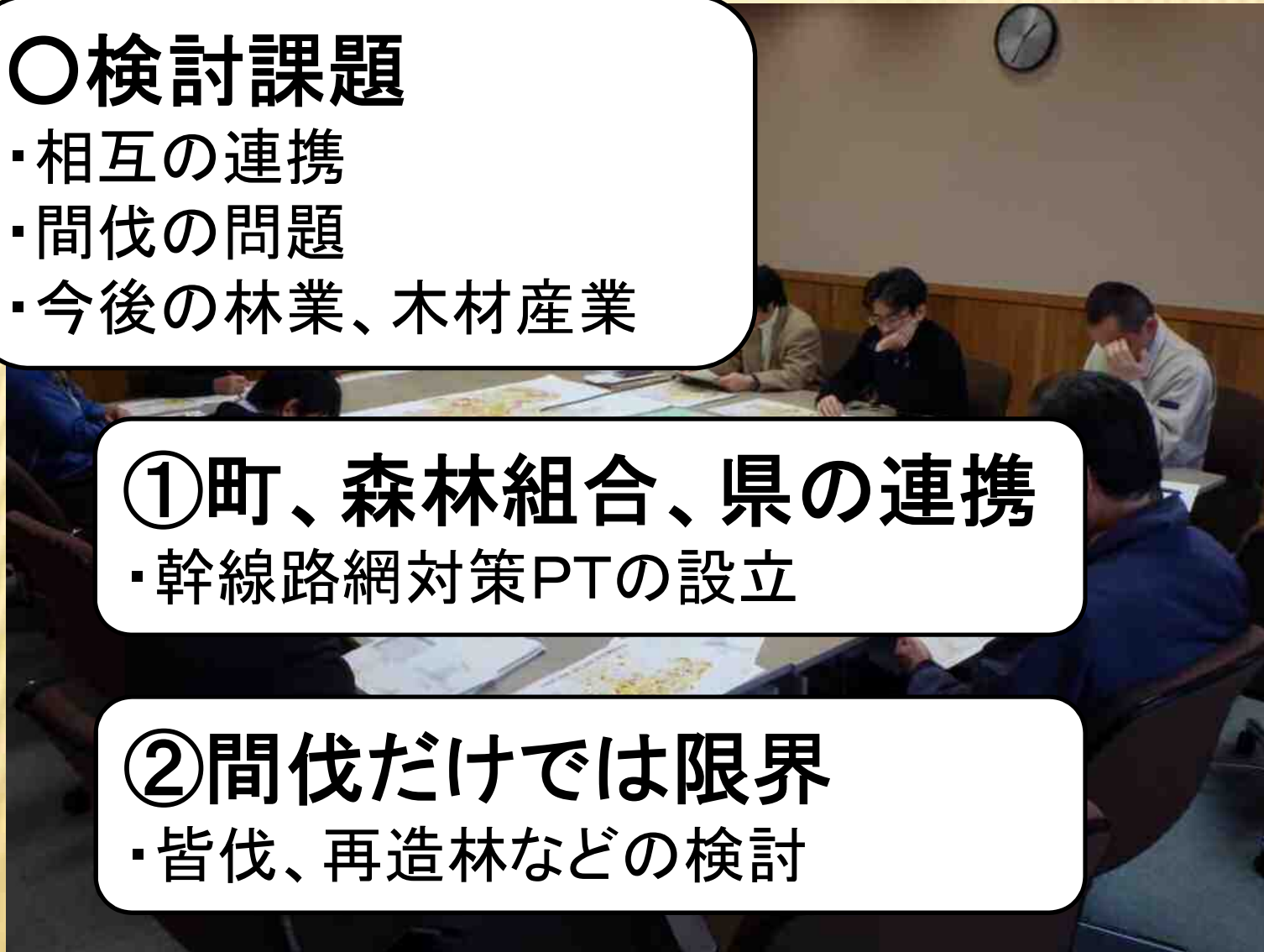
- ・相互の連携
- ・間伐の問題
- ・今後の林業、木材産業

## ①町、森林組合、県の連携

- ・幹線路網対策PTの設立

## ②間伐だけでは限界

- ・皆伐、再造林などの検討



# これまでの取組成果

## ◎幹線路網を整備する体制の整備

- ・町、森林組合、県によるPTを組織
  - ・路網検討、現地踏査、地元説明
- 林業専用道3路線事業化

## ◎計画的な森林施業の実施体制の整備

- ・日南町森林組合が集約化室を設置
- ～計画的間伐のスタート

## ◎皆伐・再造林の取り組み

- ・町の皆伐支援事業の予算化

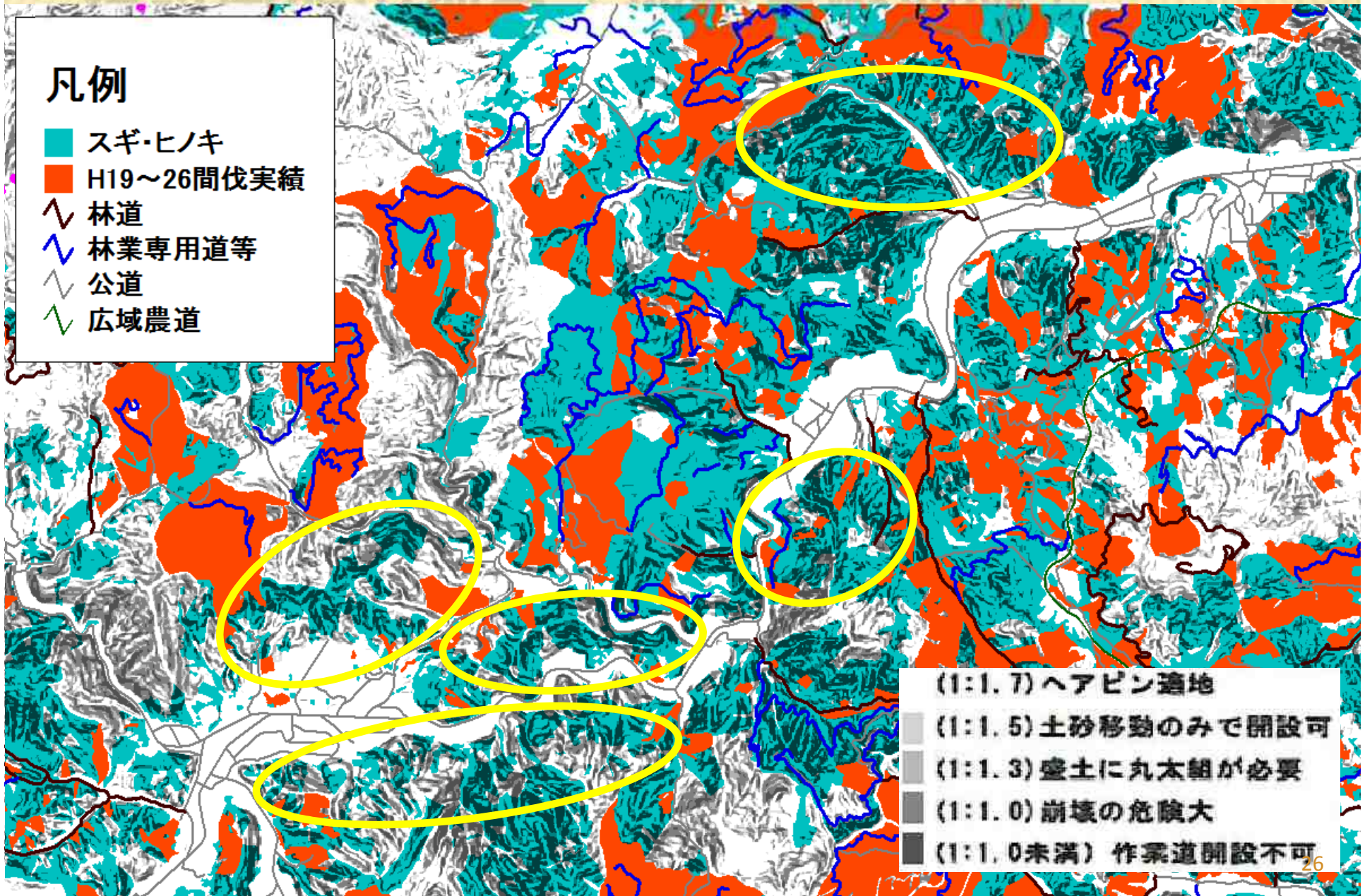


# 現在の取組（幹線路網対策P T）

急峻地域での路線検討

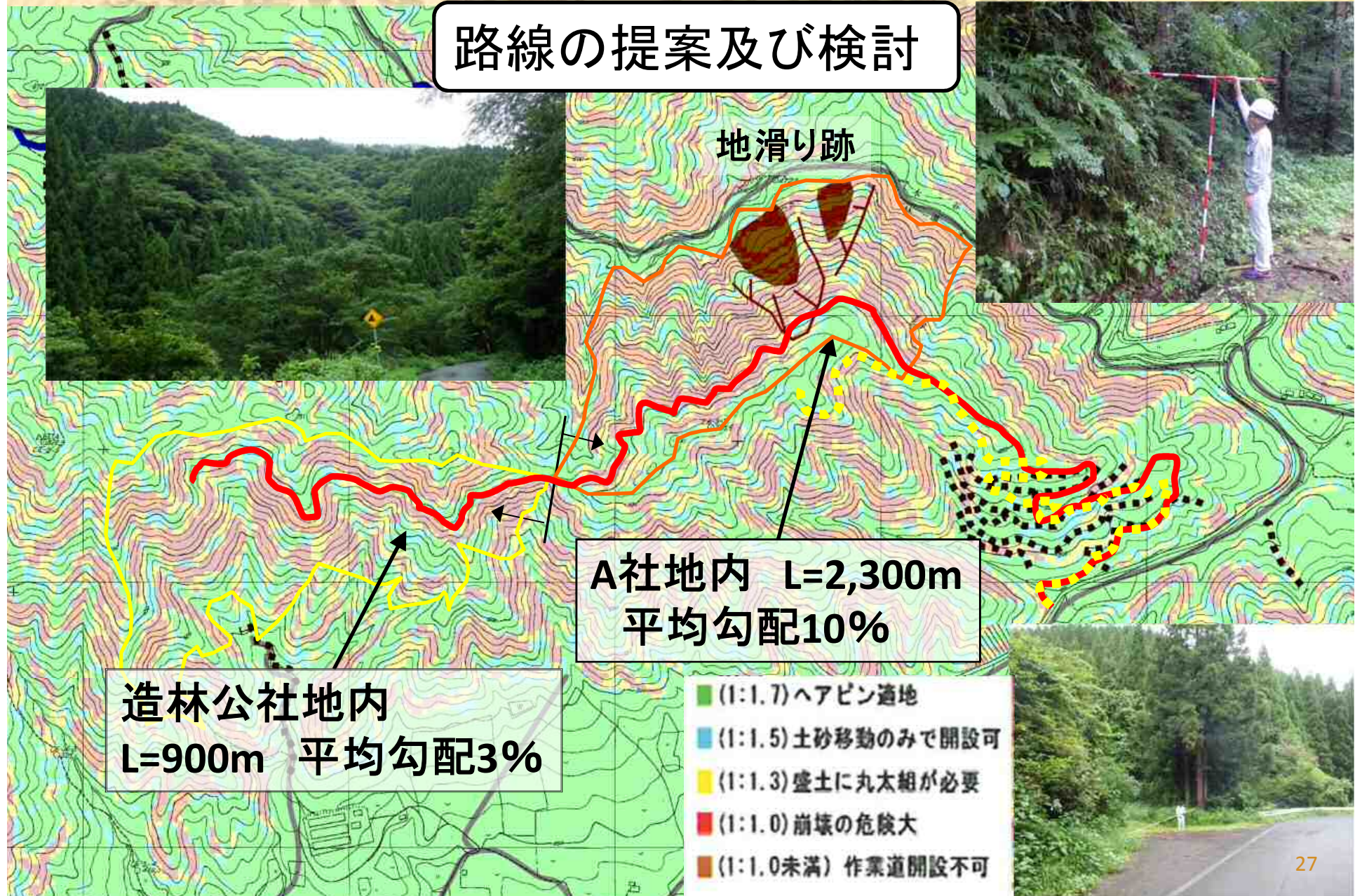


# 検討箇所の抽出（地形急峻地域）

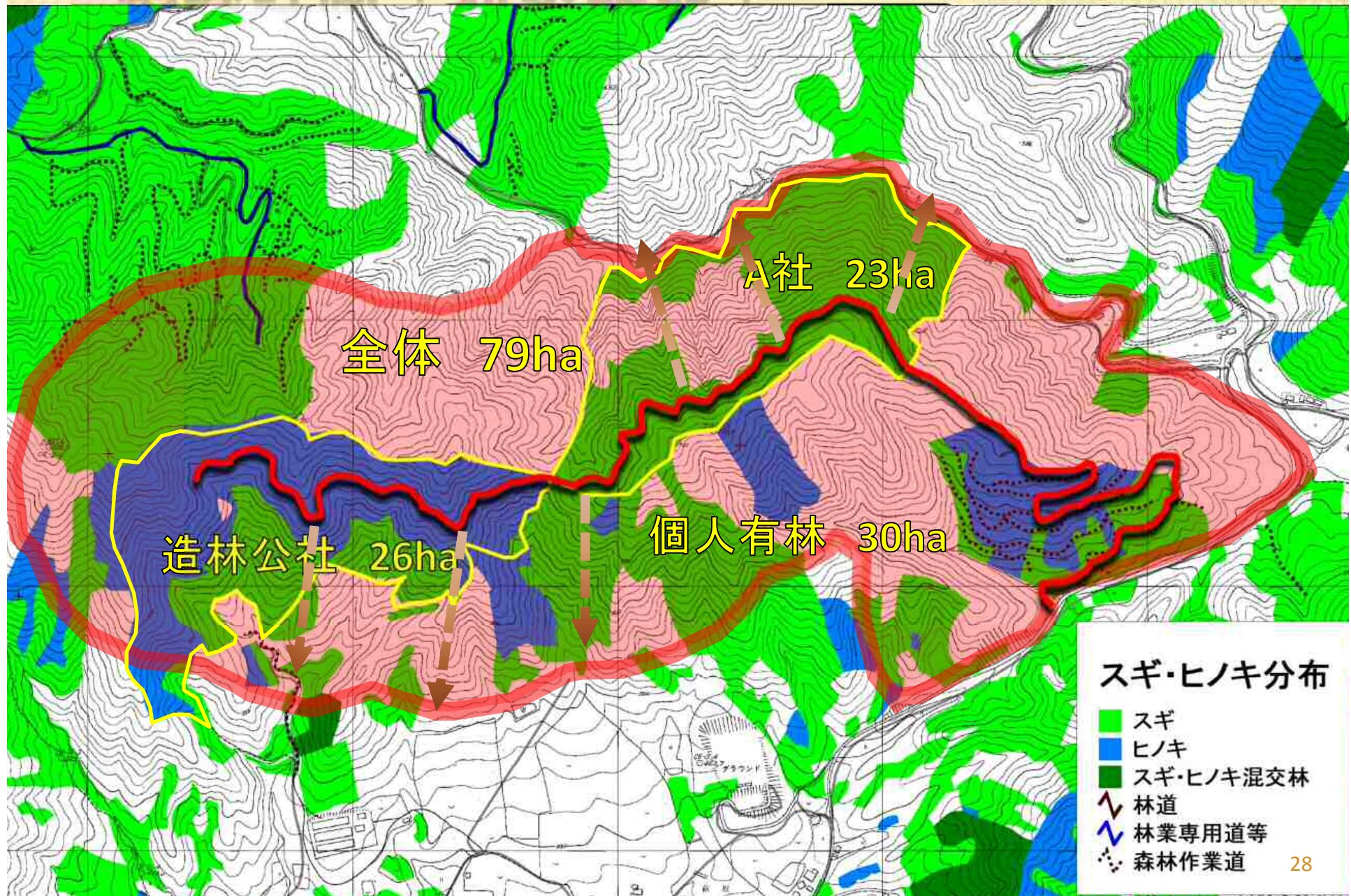


# 架線集材を視野に入れた路線検討

## 路線の提案及び検討



# 路線計画（対象森林）



# 今後の取り組み

## ◎幹線路網対策PT開催

- ・幹線路網企画技術を森林組合に普及し、幹線路網整備を加速

## ◎森林組合の集約化への支援

- ・組合所有データを活用した森林GISの「施業の見える化」推進

## ◎実効性がある市町村整備計画の作成の支援

- ・計画的な森林整備に必要な幹線路網
- ・実現性を考慮したゾーニング(皆伐・再造林など)

## ◎急傾斜地に対応した架線系林業の導入

- ・架線技術研修等を通じて普及

---

ご清聴ありがとうございました